

(お知らせ)

「大飯発電所4号機非常用ディーゼル発電機ターニング装置」に係る
警報の発生について

平成24年7月25日

関西電力株式会社

標記について、添付のとおりお知らせいたします。

以上

(原子力安全・保安院が発信したメール)
平成24年7月25日 15時47分発信

関係者各位

標記の件について、関西電力大飯発電所3、4号機に係る情報がありましたのでお知らせします。

本日(7/25・水)14時43分、大飯発電所4号機の中央制御室で、非常用ディーゼル発電機ターニング装置に係る警報(4号機安全系CC(コントロールセンター)負荷トリップ)が発生しました。

現在、非常用ディーゼル発電機(A)は自動起動できるように復帰済みです。

本警報は、7月16日(月)にも発生しています。

警報は、前回と同様、大飯4号機の非常用ディーゼル発電機(A)のターニング作業※のため、ターニングモータを起動した際、モータの過負荷が生じたことにより発生したものと推定しています。

※非常用DGの停止中において、定期的に主軸を別のモータを用いて回転させる作業。

ターニング作業については、7月16日の警報発生後、18日、20日、23日にも実施していますが、その際には問題なく作業が行われ、警報は発生していません。

ターニング装置は、非常用ディーゼル発電機の自動起動の際に使用するものではありませんが、本日夕方を目途に、非常用ディーゼル発電機(A)の機能に問題がないか健全性確認を行う予定です。

外部への放射性物質による影響はありません。

現地保安検査官が現場確認を行っています。

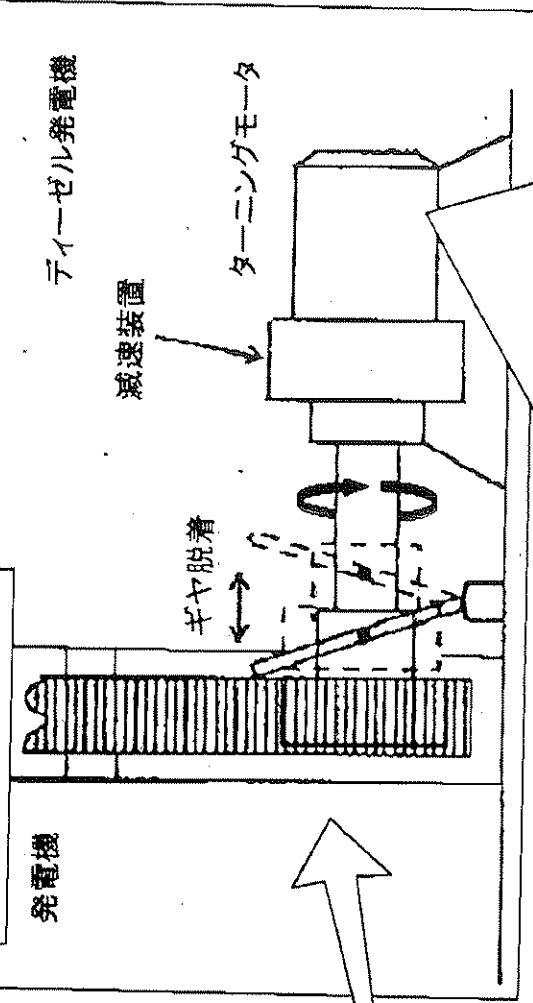
以上

大飯発電所4号機「安全系CC負荷トリップ」警報の発信について

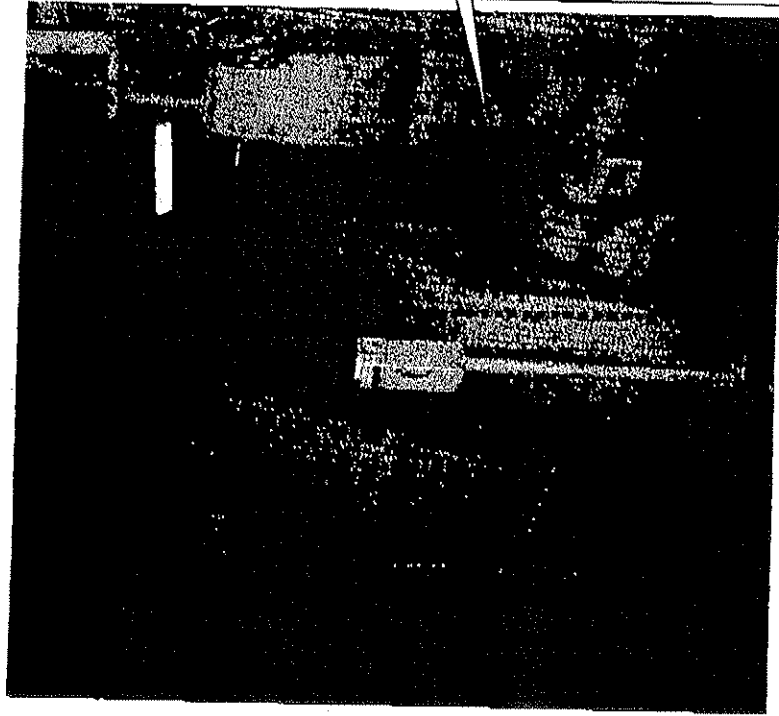
ターニング装置の機能

非常用ディーゼル発電機の機関の動作状況を確認するため、外部モータを駆動源とする装置を接続し、非常用ディーゼル発電機の回転軸をゆっくりと回転させるもの。

ターニング装置概要図



非常用ディーゼル発電機(DG)



添付資料-2

7月25日 14:43 「安全系CC負荷トリップ」警報発信
 非常用ディーゼル発電機のターニング作業のため、ターニングモータを起動した際、モータに過負荷が生じたことにより、「安全系CC負荷トリップ」警報が発信したと推定される。なお、非常用ディーゼル発電機(A)は自動起動できるように復帰済みです。

4